

## 同一設備の点検票を複数作成した場合の並び順について

---

同一消防設備の点検票を複数作成した場合の点検票の並び順について、ご報告させていただきます。

例えば、消火器の点検票を複数作成した場合は、2つ目以後の点検票にはシステム側で設備名の後ろに括弧付き数字が付きます。並び順は作成した順で並びます。

(例) 消火器、消火器(2)、消火器(3)・・・

点検の複製をしたときに順番が入れ替わる事例があるので、点検票の並び順を任意の順で変える事ができるように文字順で並ぶようにいたします。

文字順とは、ユニコード(Unicode)の文字コード順で並びます。概ね <数字、英字、カナ文字、漢字> の順になります。(末尾に文字順の概略を示します)

上の例にある、消火器、消火器(2)、消火器(3)の場合では文字が数字であるため数字順になるので順番は変わりません。しかし、括弧付き数字の部分を建物名称などにした場合は順番が変わります。

次の例の順で点検票を作成した場合。

(例)消火器 本館、消火器 新館、消火器 旧館、消火器 東館、消火器 北館

上の例を文字順で並ぶと作成時の順と変わります。

(例)消火器 北館、消火器 新館、消火器 旧館、消火器 本館、消火器 東館

任意の順にするには例えば数字を使用して設備名の後ろに数字を付けます。

(例)消火器 1 本館、消火器 2 新館、消火器 3 旧館、消火器 4 東館、消火器 5 北館

こうすれば数字が入ることにより数字順となるので、任意の順にする事ができます。

数字ではなく英字やカナ文字の順での使用が適切な場合もあるかと思われます。

#### 【ご注意】

既存の作成済み点検票についても文字順での並びとなります。

従来の並び順と変わることがありますので、  
不都合が生じる場合があるかと推察されます。

大変恐縮ではございますが、  
それらにつきましては名称の修正・加工等をお願い申し上げます。

点検票を開く際は、  
「物件基本情報」の画面から「点検名称」欄の点検名をクリックして開きますが、  
作成中のものを開く場合は特に必要が無ければ  
「マスタ反映」について「反映せずに点検を開く」としてください。

#### 【文字の並び順(ユニコード順)】

1. 半角数字 0 ～ 9
2. 半角英大文字体 A、B、C ～ Z
3. 半角英小文字体 a、b、c ～ z
4. 全角平仮名 あ、い、う ～ ん
5. 全角片仮名 ア、イ、ウ ～ ン
6. 全角漢字
7. 全角数字 0 ～ 9
8. 全角英大文字体 A、B、C ～ Z
9. 全角英小文字体 a、b、c ～ z
10. 半角片仮名 ア、イ、ウ ～ ン